**ひきこもりに関する　アンケート**

**調　　査　　票**

１　調査の対象

この調査は、次に該当するような方を「ひきこもり」とします。

1. おおむね15歳から39歳までの方で、次のいずれかに該当する方

①　仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、６ヶ月以上続

けて自宅にひきこもっている状態の方

②　仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々は買い物などで外

出することもある方

(2) 40歳以上であるが、おおむね15歳から39歳までの間に上記①②のいずれかに該当する状態になり、そのまま現在に至る方

**※　ただし、重度の障がいや重度の疾病で外出できない方を除きます。**

２　調査対象地域

　　あなたが民生委員・児童委員として担当しておられる地域とします。

３　調査の基準

　　平成29年5月現在とします。

* **現在把握されている情報でご記入ください。 当アンケート調査への回答のための戸別訪問や関係先等への照会は行っていただく必要はありません 。**
* **平成28年12月の改選で民生委員・児童委員になられた方は、前任の方から引き継がれた情報や、**

**平成29年5月現在までの活動で把握した情報を記入してください。**

４　調査結果の取り扱い

　調査結果は、市町村別・年齢別・支援の必要性などにより集計の上取りまとめます。

　個々の民生委員・児童委員の方の回答が公表されたり、取材等に応じる形で外に出ることはありません。

市（区）町村名【　　　　　　　】　地区名【　　　　　　　　　】

民生委員・児童委員　【　１．区域担当　　２．主任児童委員　　】

（いずれかを〇で囲んでください）

平成29年度　困難を有する若者に関するアンケート調査事業

大阪府青少年・地域安全室　青少年課健全育成グループ

TEL：06-6941-7681

問１　あなたの担当地域で、次に該当する方を把握しておられますか。

(1) おおむね15歳から39歳までの方で、次のいずれかに該当する方

①　仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、６ヶ月以上

続けて自宅にひきこもっている状態の方

②　仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々は買い物などで

外出することもある方

(2) 40歳以上であるが、おおむね15歳から39歳までの間に上記①②のいずれかに該当する状態になり、そのまま現在に至る方

**※　ただし、重度の障がいや重度の疾病で外出できない方を除きます。**

**※Ａ，Ｂいずれか該当する項目を○で囲んでください**

　　　Ａ　把握していない　　⇒問２へお進みください。

　　　Ｂ　把握している　　　⇒問３へお進みください。

問２　問１で「把握していない」とお答えの場合、その理由をお教え下さい。

**※該当する項目を、○で囲んでください（複数回答可）**

　　　Ａ　民生委員・児童委員に就任したばかりで、地域の状況をまだ把握できていない

ため

　　　Ｂ　オートロックマンションの普及等で状況把握が困難となっているため

　　　Ｃ　担当地域にはおられないと思うため

　　　Ｄ　その他

　　　　　　⇒問４にお進みください。

問３　問１で「把握している」とお答えの場合、その方の状況をお教えください。

○　該当する方お一人につき、次ページの表の１列をお使いください。

○　該当する項目について、○で囲むか、［　］内に記載ください。

○　１世帯に２人以上おられる場合は、１人につき１列をお使いください

　　※５人分あります。具体のご氏名は記入しない様にお願いします。

○　該当する方が多く、用紙が足りない場合は、次ページ以降をコピーしていただくか、

調査の事務局（大阪府青少年・地域安全室青少年課　電話06-6941-7681）にご一報くだ

さい。該当部分の用紙をお送りいたします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当者Ａ | 該当者Ｂ | 該当者Ｃ | 該当者Ｄ | 該当者Ｅ |
| 該当する方の性別 | 男性・女性・不明 | 男性・女性・不明 | 男性・女性・不明 | 男性・女性・不明 | 男性・女性・不明 |
| **該当する方の年齢**  ※該当する箇所を○で囲んでください  **※お分かりでない場合は、推測で結構ですので選択ください。** | 15歳～10代まで  20代(前半・後半)  30代(前半・後半)  40代(前半・後半)  50代・60代以上 | 15歳～10代まで  20代(前半・後半)  30代(前半・後半)  40代(前半・後半)  50代・60代以上 | 15歳～10代まで  20代(前半・後半)  30代(前半・後半)  40代(前半・後半)  50代・60代以上 | 15歳～10代まで  20代(前半・後半)  30代(前半・後半)  40代(前半・後半)  50代・60代以上 | 15歳～10代まで  20代(前半・後半)  30代(前半・後半)  40代(前半・後半)  50代・60代以上 |
| **該当する方の家族構成**  (同居する家族の方を選択して下さい。複数回答可) | 父　親・母　親  祖　父・祖　母  兄　弟・その他 | 父　親・母　親  祖　父・祖　母  兄　弟・その他 | 父　親・母　親  祖　父・祖　母  兄　弟・その他 | 父　親・母　親  祖　父・祖　母  兄　弟・その他 | 父　親・母　親  祖　父・祖　母  兄　弟・その他 |
| **該当する方の状況**  ①６ヶ月以上ひきこもっている  ②ひきこもってはいるが、買い物程度には出る | ①  ② | ①  ② | ①  ② | ①  ② | ①  ② |
| **ひきこもっている期間**  ⇒次のページへ  **※お分かりでない場合は、推測で結構ですので選択ください。** | ３年未満  ３～５年未満  ５～１０年未満  １０年～２０年未満  ２０年～３０年未満  ３０年以上  不明 | ３年未満  ３～５年未満  ５～１０年未満  １０年～２０年未満  ２０年～３０年未満  ３０年以上  不明 | ３年未満  ３～５年未満  ５～１０年未満  １０年～２０年未満  ２０年～３０年未満  ３０年以上  不明 | ３年未満  ３～５年未満  ５～１０年未満  １０年～２０年未満  ２０年～３０年未満  ３０年以上  不明 | ３年未満  ３～５年未満  ５～１０年未満  １０年～２０年未満  ２０年～３０年未満  ３０年以上  不明 |
| 項目  **ひきこもりなどにいたった経緯**  (お分りになる範囲で結構です）   1. 不登校 2. 中退 3. 就職できなかった 4. 就職したが失業した 5. 家族関係の問題 6. 分からない（知らない） 7. その他(経緯をカッコ内に簡単   　　　にご記入ください） | 該当者Ａ  ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | 該当者Ｂ  ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | 該当者Ｃ  ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | 該当者Ｄ  ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | 該当者Ｆ  ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ |
| **その方への支援の状況**  （お分かりになる範囲、推測でも  結構です。複数回答可）   1. 医療機関等の精神医療等の支援を受けている 2. 行政機関等の支援を受けている 3. NPO等の支援を受けている 4. 分からない 5. 上記機関の相談は受けているが、解決できないで困っている。 6. 民生委員とのかかわりがある。 7. その他   （⑤⑥⑦は状況をご記入ください） | ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ | ①  ②  ③  ④  ⑤  ⑥  ⑦ |
| その他  　当該者に関して、特記事項があ  れば、自由にご記入ください。 |  |  |  |  |  |

※該当する箇所を○で囲んでください

⇒問4にお進みください

⇒問4にお進みください

問４　担当地域のことにかかわらず、困難を有する若者等への支援策として、必要だと思われることをお答えください。

**※Ａ～Ｈの該当する項目を○で囲んでください（複数回答可）**

　　　Ａ　専門的な医療支援・カウンセリング等の充実

　　　Ｂ　総合相談窓口の充実

　　　Ｃ　NPOなど多様な支援団体の充実

　　　Ｄ　支援・相談窓口の周知・ＰＲ

　　　Ｅ　家族支援

　　　Ｆ　学校・スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）との連携

　　　Ｇ　コミュニティーソーシャルワーカー（ＣＳＷ）等と連携した訪問型支援

　　　　　　　　　　　（※「等」には、例えば生活困窮者自立支援制度の相談員が含まれます）

　　　Ｈ　他人とコミュニケーションを図ることが出来る居場所（学校・職場以外）

　　 Ｉ　その他

上記の支援策が必要だと思われた理由を簡単にご記入ください

問５　その他、ご意見やお気づきの点がございましたら、自由にご記入ください。

※ひきこもりだった若者等が社会参加（アルバイト、就職、復学等）するようになった事例などもご記入ください。

　以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。